

## 2. 将来の事業環境

### (1) 給水人口の予測

神流町の人口は、平成30年3月31日現在で1,888人となっていて、年々減少傾向にあります。将来の人口減少の予測では、令和4年度1,581人、令和9年度1,316人を予測しており、更なる人口減少が予想されます。

### (2) 水需要の予測

過去の推移をみると、給水人口の減少に伴い有収水量も減少しており、有収水量の推計にあたっては、給水人口の推計を基に算定しました。今後、給水人口の減少が続くことが予測され、また節水意識の向上や節水機器の普及が進み水需要も減少していくことが予測されます。

### (3) 料金収入の見通し

水道料金収入については、給水人口の減少に伴い水道料金収入も減少が予測されることから、将来において水道料金の値上げを検討しています。

### (4) 施設の見通し

耐用年数を超えた施設・設備、管路の老朽化度合を考慮し計画的に更新を行っていきます。給水人口減少も考慮した施設の改修や見直しを進めていきます。

### (5) 組織の見通し

職員の人数につきまして、最低限の人数で水道事業を運営しているため、当面現在の体制で運営を行っていきます。

## 3. 経営の基本方針

将来にわたって安心して安全な水を安定的に供給するため、水道施設の維持・改修を進めていきます。また、簡易水道事業の健全運営に努めます。安全で快適な水を供給するために、水質管理を徹底し安全な水の供給に努めます。経営健全化の取り組みにつきまして効率的な経営により収入と支出の均衡を図り、安定した経営を目指します。